

社団法人 全日本川柳協会

平成 17 年度 通常総会議事録

(平成 17 年度 2005 -)

日 時 平成 18 年 2 月 10 日 (金)

場 所 神田佐久間町 1-11

千代田区和泉橋区民館

社団法人全日本川柳協会

平成 17 年度通常総会議事録

1、日 時 平成 18 年 2 月 10 日 (金) 14 : 10 ~ 16 : 00

2、場 所 神田佐久間町 1-11 千代田区和泉橋区民館

3、出席者の確認

出席者数 52 名・委任状出席 292 名・合計 344 名

正会員現在数 433 名の内上記のとおり定足数 217 名に達しており、よって定款第 27 条により当総会の決議事項は有効であることを確認した。

4、議事録署名者選出

あきたじゅん、伊豆丸竹仙の 2 氏を議事録署名者として選出した。

5、議 事

今川乱魚会長挨拶ののち、大木俊秀理事が議長となり次の事項を審議決定した。

第 1 号議案 平成 18 年度事業計画承認の件

議長の指名により本田事務局長から、議案書に基づき平成 18 年度事業計画について説明。これらを一同に諮ったところ、全員一致これを承認した。

第 2 号議案 平成 17 年度補正収支予算承認の件

議長の指名により塩見理事長から、平成 17 年度は広島大会関連の助成金支給が決定したことにより収支額の増加があるため、実体に合わせて補正予算を作成したい旨の説明があった。これらを一同に諮ったところ、全員一致原案どおりこれを承認した。

第 3 号議案 平成 18 年度収支予算承認の件

議長の指名により塩見理事長から、平成 18 年度予算案について議案書に基づき説明があり、質疑応答を行なったのち、全員一致原案どおりこれを承認した。

- 第4号議案 80歳以上の功労者顕彰の件
議長の指名により今川会長から、議案書に基づき、80歳以上の功労者顕彰について説明がなされた。選考委員の推薦に基づき本議案を諮ったところ、全員一致これを承認した。岩手大会の前夜祭において表彰する予定。
第2回功労者顕彰の対象者は次のとおり
岩手県 藤沢 岳豊（日川協元理事、東北地域川柳振興）
群馬県 荻原 柳絮（川柳竹柳会、群馬国民文化祭実行委員長功労）
大阪府 田中 正坊（川柳塔社、平成柳多留長年編集）
香川県 吹田 朝児（三木川柳会、香川全国大会実行委員長功労）
大分県 佐藤真砂延（大分番傘川柳会、九州地域川柳振興）
- 第5号議案 岩手大会、国民文化祭やまぐちの件
議長の指名により佐藤理事より、岩手大会の進行状況について説明がなされた。山形県の黒沢かかし氏が体調不良につき選者辞退を申し出ている。代選については岩手県実行委員会より至急候補者をあげて対応したい旨の説明があった。引き続き早川理事より、国民文化祭やまぐちの資料を配布し、順調に準備が行われているが、二次選者の泉比呂史氏逝去に伴い久保田半蔵門氏に選者変更となった旨の説明があった。一同に諮ったところ、全員一致でこれを承認した。
- 第6号議案 平成20年度以降の全国大会開催地の件
議長から、議案書に基づき、平成20年度以降の全国大会開催地について検討してほしい旨の説明があり、前年度および国民文化祭の開催地等を考慮の上、2～3件ほど打診を行ってはどうかとの意見がなされた。一同に諮ったところ、全員一致でこれを承認した。
- 第7号議案 その他
国民文化祭とくしまの題について、徳島県実行委員会からの提案（15題）に基づき、一同に諮ったところ、9題が選定された。
インターネット（ブログ）を用いて、全国大会等の上位入賞作品に対する反響を募集する件についての提案がなされ、検討することになった。
出席者から、平成19年8月26日は、初代柄井川柳立机250年に当たり、日川協でも全国的記念行事を盛大に行ってはどうか、との発言があり、今川会長から、啓蒙期間も必要であるので、常任幹事会で詰めることとしたい、旨の応答があった。